平成16年
９月５日号
No.1176
● 毎月５・１５・２５日発行

広報かもがわ

● 編集発行・鴨川市役所秘書課
広報広聴係
● 電話・0470(93)7827
● FAX・0470(93)7850
● 鴨川市横渚1450
● 郵便番号・296-8601

セピア色の思い出をたどる「なつかしの写真展」

鴨川地区編

昭和初期の蒸気機関車（鴨川鉄橋）

昭和四年ごろの鴨川駅周辺。田んぼに囲まれている様子が航空写真からわかります。右上に見えるのは前原海岸です

太平洋戦争が始まった昭和16年の鴨川駅。出征兵の皆さん（正面）が見送りを受けています。このような光景は、昭和18年ごろまでよく見られました

昭和19年、鴨川小学校児童による寒中マラソンの一コマ。前原方面に向かって元気良く走り抜けていきます

昭和30年代の新町通り商店街。万国旗や大売り出しの「のぼり」が、当時のにぎわいを物語ります

ユニークな三角形の建物は昭和40年ごろの鴨川警察署です。場所は現在の中央公民館です

昭和九年、鴨川電話局の交換室。現在の市民ギャラリーの場所にありました。和服に〝はかま姿〟の交換嬢は当時、花形の職業でした

昭和初期を中心に
風景や出来事など40点
市民ギャラリーで展示中
9月20日(月)まで

覚えていますか。あの日のことを－。『なつかしの写真展～鴨川地区編～』が、市民ギャラリーで開催中です。これは、ふるさとの歴史や風物の移り変わりを当時の貴重な写真で紹介しようというものです。展示は、鴨川地区を中心に風景や建物、人物写真など約40点。期間は９月20日までです。天津小湊町との合併を間近に控えたこの機会に、どうぞ、ご覧ください。

明治から大正、昭和の時代を経て、大きくその姿を変えてきたふるさと鴨川－。砂利道や馬車、木製の橋、人々の服装など当時の様子も、次第に私たちの記憶から失われつつあります。

「なつかしの写真展」は、来年二月十一日に迫った新市誕生を前に、先人たちが育んできた鴨川の歴史を皆さんとともに振り返ろうという企画展で、市民ギャラリーを会場に九月二十日まで開催されています。

会場には、鴨川地区の市街地を中心に白黒写真約四十点を展示。鴨川駅周辺や新町通り商店街など、昭和初期のたたずまいを紹介しています。また、大浦海岸の水揚げやニッケル鉱山、蚕業試験場など産業面のほか、皇太子ご一家の来鴨や鉄道開通祝賀式、弁財天の本開帳など歴史的な出来事、戦時中の市民生活など、ふるさとの歩みをさまざまな角度からご覧いただけます。

これらの写真は、いずれも市民皆さんや関係者から提供された貴重な写真です。

どうぞ、この機会にぜひ、ご来場ください。

■期間　九月二十日(月)まで(六日と十三日は休館)
■開館時間　午前九時から午後四時まで
■会場　市民ギャラリー
■入館料　無料
※問い合わせは同ギャラリー（☎㉝２３６６）へ

とじて保存しましょう

明治～昭和初期　昔の写真をお貸しください

ご家庭に昔の写真はありませんか？。市では今後も、地区ごとに昔の姿を紹介する写真展を予定しています。明治から昭和初期にかけて撮影された町並みや農作業風景、庶民生活などの様子がわかる写真をお持ちの方は、ぜひ、お貸しください。

なお、お借りした写真は、貴重な資料として郷土史研究や歴史学習などにも活用されます。

ご協力いただける方は、郷土資料館（☎㉝３８００）へご連絡ください。

11月５日(金)～７日(日)
「市文化祭」に出品を申し込みは10月15日まで

市民皆さんの芸術文化の発表の場となっている「鴨川市文化祭」は、十一月五日（金）から七日（日）までの間、市民会館とギャラリーを会場に、下表のような部門ごとに開催されます。

皆さんが日頃から制作されている作品や保存している資料などを、ぜひ、この機会にご出品ください。

出品を希望する方は、十月十五日（金）までに各部門の責任者へ申し込みください。手数料は無料です。

なお、作品の鑑定や審査などは行いません。

10月８日に俳句大会

俳句については、十月八日（金）に文化祭出品のための大会を開きます。会場は市文化財センターです。当季雑詠三句で、当日正午に投句締め切り。参加費は一人千円（当日持参）。問い合わせは酒井さん（☎㉒２０５０）へ。

文化祭の出品内容

開催部門	出品規格・点数	責任者（電話）
①絵　画	日本画・洋画とも50号以内、１人２点以内	池田幸雄　☎㉝0706
②書　道	小雅仙半切1／2以内（題名を添えて）、額装又は軸装、１人１点	田村　渡　☎㉒2535
③華　道	１人２点以内	高木　操　☎㉒1570
④手　工　芸	１人２点以内	久保和子　☎㉗1266
⑤写　真	全紙サイズ以下　１人２点以内	長谷川忠作☎㉒0701
⑥短　歌	１人１点	山口卓之　☎㉒2764
⑦俳　句	10月８日の俳句大会で選定	酒井保治　☎㉒2050
⑧刀　剣	部門の申し合わせによる	尾高元之　☎㉒0055
⑨郷土史研究	部門の申し合わせによる	佐久間行央☎㉗0031
⑩盆　水　石	部門の申し合わせによる（自分で採集したもの）	松本友一　☎㉒9265
⑪茶　道	部門の申し合わせによる	金子聰子　☎㉒4480
⑫一般園芸植物	部門の申し合わせによる	尾形喜啓　☎㉗0290

・⑧、⑨以外は、自分で制作したもので原則として未発表のもの
・作品はなるべく本表装や額縁など、適当な装飾設備をすること